

大津祭と能・能面

伊庭能面巧連展

大津祭と能の縁は深く
関係する能面を中心に展示



2026年

12月18日(金)－20日(日)10時～17時

- ・伊庭貞一とその仲間の能面展示
出展者:伊庭貞一 里田敏一 猪田道朗
- ・大津祭・関係資料展示

＊12/20(日)13:30～

講演「曳山祭、そして大津祭」

講師:長浜市曳山博物館 元館長 中島誠一
大津祭曳山連盟 理事長 船橋寛明
講演後、伊庭貞一と鼎談

主催:能織会

協力:特定非営利活動法人大津祭曳山連盟

後援:滋賀県 滋賀県教育委員会 大津市 大津市教育委員会



会場:旧大津公会堂「多目的室」

大津市浜大津1丁目4-1 TEL:077-522-8220

- ・京阪電車石山坂本線・京津線
「びわこ浜大津」駅より徒歩約3分
- ・JR「大津」駅より徒歩約15分

大津祭と能・能面 伊庭能面巧連展

— 出展者プロフィール —

・伊庭貞一

1951 年 大津市上京町に生まれる
2002 年 能面師 中村光江師に師事
2004 年 伊庭能面教室を開講
2005 年「滋賀能楽能面を育てる会」を発足
2009 年 国際文化会館(東京)ポスターに
「増女」採用

※2011 年より、長浜八幡宮薪能、滋賀県内能公演、
京都市内公演、大阪公演にて能面採用

【受賞等】

・福井県池田町能面公募展「能楽の里賞」
・国民文化祭「福井県・能面の祭典」国民文化祭実行委員会会長賞
・豊中「第七回島熊山能面祭・能面公募展」大賞：大槻文蔵賞
・横浜能楽堂「能面コンクール2016」優秀賞
・東近江市「教育委員会・文化賞」
※その他、入賞入選多数



・里田敏一

1948 年 滋賀県東近江市に生まれる
2013 年 伊庭能面教室に入会
2020 年 豊中「島熊山能面祭」出展
2021 年 安土能面打ち体験講座開催
2021 年 彦根文化プラザ作品展示(6 年間)
2022 年 金沢現代能面美術展に初出展
2024 年 彦根カフェ&ギャラリー然展示会開催

【受賞等】

・豊中能面祭に出展 入選
・金沢現代能面美術展 上位入選、入選
※滋賀県能楽を楽しむ「能装束着付け実演と能公演」にて能面使用



・猪田道朗

1955 年 滋賀県東近江市に生まれる
2018 年 伊庭能面教室・能織会展示会を見学
4月より伊庭能面教室に入会
2022 年 第14回金沢現代能面美術展「顰」入選
2025 年 第22回越前池田「能楽の里が選ぶ能面展」「俊寛」入選



曳山と能の関係一覧

曳山十三基の内、八基が能に関係



曳山	関係する能の演目	内容
「西行桜狸山」 鍛冶屋町	西行桜	花の中から仙人が現れて 西行法師と問答する。
「狸々山」 南保町	狸々	高風の酒で狸々が、大杯 で酒を飲むところ。
「西王母山」 丸屋町	西王母	曳山にすむ西王母の長寿 伝説に桃太郎の説話を加 味したもの。桃の実が二 つに割れて、その中から 桃童子が生まれる。
「月宮殿山」 上京町	鶴亀	鶴と亀の冠をつけた男女 の舞人が皇帝の前で舞う ところ。
「殺生石山」 柳町	殺生石	玄翁和尚の法力によって 石が二つに割れ、玉藻前 の顔が狐に変わる。
「源氏山」 中京町	葵上 源氏供養 浮舟 野宮 半蔀	紫式部が石山寺において 源氏物語を書いたという 故事にちなむ。
「石橋山」 湊町	石橋	天台山の岩石の中から唐 獅子が出てきて牡丹の花 に戯れ遊び、また岩の中 にかくれる。
「神功皇后山」 狛師町	復曲能 箱崎	神功皇后が戦勝を占って まっすぐの針で鮎を釣っ たとされる故事にちなむ。 神功皇后が岩に弓で字を 書く所作をすると、次々 と文字が現れてくる。

＊ 能面教室のご案内 ＊

県内を中心に能面教室を開講、生徒募集中。彫りから彩色までをご指導いたします。

【お問合せ】東近江市能登川町344-12 能面作家 伊庭貞一

TEL:090-8885-2674 メール:iba-nomen@e-omi.ne.jp

【教室】・能登川教室・長浜開知教室・草津教室・東京教室



ホームページ

